

亜くろいし 市議会だより

第4号

平成26年
3月1日発行

12月定例会

発行：黒石市議会 〒036-0396 青森県黒石市大字市ノ町11番地1号 TEL 0172-52-2129 FAX 0172-53-7410
ホームページ http://www.city.kuroishi.aomori.jp/City_Assembly/CA_Menu.html



トピックス

議員在職10年 表彰

大溝雅昭議員、工藤俊広議員が、全国市議会議長会から市議会議員として10年にわたり市政の振興に尽くされた功績により表彰されました。



目次

議会の概要	2
議案一覧	3
市政に対する一般質問	4～7
行政視察報告	8

平成25年第4回定例会の概要

平成25年第4回定例会は、11月27日から12月10日までの14日間にわたって開かれ、市長提出の2報告・37議案、議員提出の2議案を、慎重な審議の上、いずれも原案どおり承認・可決・同意いたしました。

議員提出議案 西十和田トンネル（仮称）の早期建設を求める意見書

提案理由

国際的観光地である十和田湖から津軽一円、さらには岩手県八幡平圏域への観光ルートの充実において、不可欠である西十和田トンネルの建設については、平成元年度に新規要望され、当市議会においても平成4年度に設立された国道454号整備促進期成同盟会の会員として、20年余りに及び要望活動を行っております。

しかし平成7年度から青森県単独による地質調査、環境調査等が実施されているものの、着工のめどはつかず、遅々として進んでおりません。西十和田トンネルの建設は、豪雪により冬季閉鎖されている山岳道路区間の解消、津軽と南部の動脈形成及び東北縦貫自動車道への連結が容易となるなど、十和田八幡平圏域における観光振興と経済波及効果が大きく期待され、東北新幹線が全線開通となった今日では、その重要性はますます高まっております。さらに、今後日本の経済は、安心・安全・安定成長へと発展していくものと考えられます。新しい国づくりをしていくべき時代を迎えたわけでございます。今、運動を展開をしなければ、後世の人々に先人たちは何もしてこなかったのかと失望させ与えます。それは、とても悲しく残念なことだと思います。

よって、地域経済の発展と、広域観光の振興のため西十和田トンネルの早期建設について、国及び青森・秋田両県に対し意見書を提出するものであります。

反対討論

反対理由の1つは、県が平成8年から環境調査、交通量調査をしてきました。調査の結果によると、工事手法をいろいろ考える必要があることや、鳥を別の場所に誘導させる必要もあること等、思ったより経費がかさむという状況にあると報告していること。

2つ目は、県としては現在「青楓トンネル」が国の事業となったこともあり、このトンネルは4キロメートルで大体220億から230億円の負担で10年ぐらいかかる大事業であり、この工事が終了しなくては手を付けられないし、今のところ西十和田トンネルは考えていないと言明していること。

3つ目は、小坂町は要望しているが、秋田県としては、県の負担が何百億円もかかることもあって、要望から手を引いたというのが現段階であること。

4つ目は、県を初め、近隣市町村、西十和田トンネル建設期成同盟会等との協働や、それらの機関との今後の取り組みというのが今、具体的に持っていない現状であること。

そういう中で、今黒石市議会が動く必要があるのかどうか、もう少しいろいろな戦略を整えて臨むべきだと思います。

したがって、現時点では出す状況にないという観点から反対するものであります。

賛成討論

国道454号は県土を東西に横断し、広域的な観光レクリエーションの開発・連携強化に寄与するばかりでなく、青森・秋田両県はもとより、広く北東北の発展を図る上で大きな役割を担うとともに、災害時の物流ルートとしても、重要な路線であります。

しかしながら、温川から滝ノ沢までは、いまだに狭隘区間や急勾配区間等の危険箇所があり、冬季間は閉鎖により、完全に機能を失ってしまう状況にあります。

これらを解消し、活力ある経済に支えられたゆとりある社会と、安全で安心できる地域を実現するために、西十和田トンネルの早期建設が必要となります。

これまで、平成元年に西十和田トンネル建設期成同盟会を設立し、市が要望活動を開始するとともに、平成4年度に国道454号整備促進期成同盟会の設立により、市と市議会が協同で、継続して要望活動を行ってきたところであります。しかし、残念なことに、いまだに見通しが立っておらず、青森・秋田両県の足並みも揃っていないように見受けられます。

この硬直した状況の打開に向け、国並びに青森・秋田両県に西十和田トンネルの重要性と市民および利用者の思いを再認識していただき、建設に向けた取り組みが推進されることを強く願います。また、黒石温泉郷の方々もトンネルの建設を強く求めています。特に冬の観光のマイナスが観光業者にとって厳しい一番の問題となっております。冬のルートの確保は、特に必要なものと考えます。

議員提出議案 津軽広域水道企業団との受水契約の見直しを求める意見書

提案理由

津軽広域水道企業団からの受水費は、企業団構成市町村の将来の水需要を予測した水道計画に基づく受水量を基本水量として、基本水量に単価を乗じた基本料金と、使用水量に単価を乗じた使用料金とで構成されています。基本水量のもととなる受水量は、昭和63年に水道計画を策定後、平成7年に第2次水道水計画を策定し、受水量の見直しを行い現在にいたっています。

しかし、近年の人口減少に伴い、各市町村とも実際の受水量と基本水量との乖離が生じているのが現実であります。市町村ごとに人口減少率が異なるため、結果として市町村の中には、受水単価が高くなり、水道料金が高額となっている市町村もあります。

よって、黒石市議会は、実際の受水量と基本料金のもととなる基本水量との乖離を是正して、適正な基本水量となるよう対策を講ずるべきと考え、確実に実現されるよう強く要望いたします。

第4回定例会の報告・議決結果と各会派の賛否一覧

(○は賛成、●は反対)

番 号	件 名	会 派 名	自民・公明 ク ラ ブ 10人	黒石市民 ク ラ ブ 5人	日 本 共 産 党 1人	議決結果
報告第32号	平成25年度黒石市一般会計補正予算(第5号)について		○	○	○	承認
報告第33号	平成25年度黒石市観光施設事業特別会計補正予算(第3号)について		○	○	○	承認
議案第96号	黒石市税条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	原案可決
議案第97号	黒石市社会福祉センター条例制定について		○	○	○	原案可決
議案第98号	黒石市児童館・児童センター条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	原案可決
議案第99号	黒石市児童デイサービスセンター条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	原案可決
議案第100号	黒石市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	原案可決
議案第101号	黒石市農業集落排水事業分担金条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	原案可決
議案第102号	黒石都市計画下水道事業受益者負担金条例の一部を改正する条例制定について		○	○	○	原案可決
議案第103号 から 議案第123号	黒石市黒森会館、黒石市社会福祉センター、黒石市児童館・児童センター、黒石市児童デイサービスセンター「天使の森」、黒石市老人福祉センター、黒石市石名坂活性化施設、黒石市大川原活性化施設、黒石市沖揚平活性化施設、黒石市花巻村づくりセンター、黒石市袋生活改善センター、黒石市小屋敷集落研修センター、黒石市派村集落研修センター、黒石市高賀野集落農業研修センター、黒石市有機物資源活用センター、黒石市ねぎ苗供給センター、黒石市市民の森、津軽伝承工芸館及び津軽こけし館、黒石市虹の湖公園及び地域防災センター浅瀬石川ダム資料館、津軽こみせ駅、黒石市ちとせ会館、黒石市婦人会館の指定管理者の指定について		○	○	○	原案可決
議案第124号	固定資産評価審査委員会委員の選任について		○	○	○	同意
議案第125号	平成25年度黒石市一般会計補正予算(第6号)		○	○	○	原案可決
議案第126号	平成25年度黒石市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	原案可決
議案第127号	平成25年度黒石市介護保険特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	原案可決
議案第128号	平成25年度黒石市観光施設事業特別会計補正予算(第4号)		○	○	○	原案可決
議案第129号	平成25年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計補正予算(第1号)		○	○	○	原案可決
議案第130号	平成25年度黒石市水道事業会計補正予算(第1号)		○	○	○	原案可決
議案第131号	平成25年度黒石市下水道事業会計補正予算(第1号)		○	○	○	原案可決
議案第132号	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の増加及び青森県市町村総合事務組合同規約の変更について		○	○	○	原案可決
議員提出議案第6号	西十和田トンネル(仮称)の早期建設を求める意見書の提出について		○	○	●	原案可決 (起立多数)
議員提出議案第7号	津軽広域水道企業団との受水契約の見直しを求める意見書の提出について		○	○	○	原案可決

第4回定例会一般質問



自民・公明クラブ
くろいし ななこ
黒石 ナナ子 議員

問 黒石市における児童虐待の防止対策と、組織や連絡体制はどのようになっているのか。過去5年間の市内の児童虐待の実態は。

答 要保護児童対策協議会を設置し、ネットワークを確立しています。児童相談所と福祉事務所に対応した相談件数は、過去5年間で87件。24時間体制で相談できるようにしています。

問 全国規模で展開されている子供虐待防止のオレンジリボン運動を全市に広げる考えは。

答 11月は全国オレンジリボン月間運動で、市内各所にポスター250枚を配布しました。本年度から手作りのリボンの配布等更に運動を進めてまいります。



問 ふるさと教育のひとつとして黒石よされの普及・促進・継承にどう取り組むのか。小中学校の児童生徒に対し、黒石よされの重要性をどのように理解させるのか。

答 歴史と伝統に触れることは大切だと考えます。地域に根ざした黒石よされに、より多くの児童生徒が参加できるように、各校がPTAや地域と連携して取り組んでいくことを支援するとともに、校長会を通じ働きかけていきます。



自民・公明クラブ
きたやま かずえ
北山 一衛 議員

問 トップアスリート発掘に関して、本市でタレント発掘・育成事業に取り組む考えはないか。

答 スポーツ振興等を図る上で、検討する余地があると思っています。県、市の関係団体等と連携をとりながら、2020年東京オリンピック・パラリンピックで活躍できる夢のある事業として、可能かどうか研究していきたいと考えています。

問 再生可能エネルギー等導入支援基金事業の取り組みは。

答 福祉複合施設や体育館に、災害時の非常用電源を確保するため、蓄電池や太陽光パネルを整備します。26年度事業実施できると考えています。また、2億円の予算でどこまでできるか検討中です。

問 本市でウォームビズに取り組む考えはないか。

答 本市は積雪寒冷地であることから普及は難しいと思いますが、節電により二酸化炭素排出量削減効果が高いと思われるので今後研究していきたいと考えています。



黒石市民クラブ
ごとう ひでのり
後藤 秀憲 議員

問 台風18号の被害金額と発生後の市の対応について。

答 人的被害がなかったことは幸いですが、非住家半壊のほか、市道被害は1200万円、農地及び農業用施設被害として1億6090万円、農作物の減収に伴う被害が1870万円余りと見込まれ、被害総額は、1億9160万円余りです。

9月17日に黒石市農業生産推進本部を立ち上げ、同本部において被害状況の把握と対応に努め、関係課で被害の状況を共有し、市税等の相談窓口を税務課に一本化しました。今後も被害状況の早急な把握に努め、迅速な対応を進めたいと考えております。

また、災害対策本部設置の有無による補助率の違いはありません。

問 減反政策の廃止に伴う影響と中山間地域の休耕田について。

答 農業者は経営形態がさまざままで、廃止を歓迎する大規模農家の増加が予想される反面、米生産農家の減少や所得減少などの不安要素もあります。現在実施している中山間等直接支払制度等主要事業の大半が大きく変革することが予想されるため、制度の内容がどうなるのか注視しています。



自民・公明クラブ
くどう としひろ
工藤 俊広 議員

問 空き家の現状について危険防止策や実態の調査について市の取り組みはどうか。空き家バンクの実施について。

答 空き家に関する苦情件数は46件で、危険防止対策として適正管理を要請する文書を送付し、危険なところには看板の設置を行っています。更なる実態調査と空き家バンクについては検討課題とします。

問 学校の適正配置、給食の実施時期については変更がないのか、新築移転についての市の考えはどうか。

答 適正配置は、現時点では小学校は平成30年度をめどに10校から4校に、中学校は29年度をめどに4校を2校とする方針です。給食は30年度から小学校での実施を目指します。黒石、中郷、北陽の3小学校の統合時使用校舎は、統合と同時に移転新築できないか、可能性を探っています。



問 市制施行60周年についての市の考えはどうか。

答 一過性のものとしてはならない。将来に向けての励みになり若者や子供たちに夢を持たせる60周年にしたいと考えています。一人でも多くの市民とともに祝いたいと思います。広く市民から市制施行60周年のキャッチコピーを公募します。



自民・公明クラブ
くどう かずゆき
工藤 和行 議員

問 26年度予算編成について、歳入見通し、主要施策、また、編成に向けた市長の思いは。

答 歳入見通しは、市税については、個人均等割はふえますが、固定資産税の減や法人税の伸び悩みなどから前年度額を確保することは難しい見込みです。財政調整基金の取り崩しも視野に入れています。主要施策では、がん検診促進事業や農業機械導入助成、旧松の湯再生事業は継続したいです。その他将来に何を残すかを考え、黒石らしい事業を進めていきます。編成に向けた思いとしては、市民サービスを拡大したい思いは常にありますが、財政健全化のためいま一度気を引き締めてまいりたいと考えています。

問 教育行政について、適正配置方針を受けて統合を正式決定するのはいつと考えるか。また、学校給食に関する課題は。

答 子どもの教育環境を大きく変化させることから、26年度中には統合の枠組みを明確にする必要があると考えます。

給食に関しては、供給元である弘前市の衛生管理基準に沿った本市の受け入れ環境を整えることが求められているほか、弘前市給食センターの改修に伴う費用負担などがあります。弘前市との協議でも、まずは本市の統合を明確にすることが計画を進めるうえでの課題となっています。



黒石市民クラブ
ささき ゆたか
佐々木 隆 議員

問 日本一のこけし灯ろう祭りについて、現在こけし灯ろうの台数は何体あるのか、また、補助金で購入された台数は。市の主な祭り（黒石よされ・こみせ祭り・りんご祭り）等へ活用するべきではないか。補助金事業は今後もあるのか。

答 現在補助金で購入された灯ろうが100体、まつり実行委員会が所有している灯ろうが108体、計208体あります。祭りへの活用は、祭り主催者と協議していきたいと考えています。

問 旧松の湯は伝建群の核となる施設であると思うが、公開に当たり本市には、歴史や人物、祭りなどの紹介できる史料館がないため、紹介できる常設施設にする考えはないか。

答 常設の展示公開スペースや企画展等を行うことのできる市民展示室などを設け、黒石の歴史や文化や名誉市民など観光客や市民にも多く紹介していきたいと考えています。

観光展示室には、大画面のモニターを設置し、黒石よされやねぶたなど祭りやイベントなどを映像コンテンツにより紹介していきたいと考えています。





黒石市民クラブ
やまだ かつゆき
山田 鉦一 議員

問 毎年東公園において「さくらまつり」が開催されて多くの利用者から親しまれる公園となった。また、10月下旬からは、中野もみじ山が名所となり、夜にはライトアップもされ観光客で賑わい、駐車場も混雑して路上駐車が目に付く。そこで、春は、黒石駅から「こみせ」を通り「東公園のさくらまつり」会場まで、秋には、黒石駅から「こみせ」を通り「中野もみじ山」までシャトルバスを運行してはどうか。



答 民間企業のバスが通年、黒石駅から中町を通り、東公園を経由し、中野まで運行しているため、市単独でのシャトルバス運行は考えていません。

問 市職員の管理職手当が部長級8000円、課長級5000円の手当で残業、土日出勤もあると思うが、労働基準法に触れないのか。事務の管理体制に影響はないのか。

答 本市の管理職手当は、全国にも類を見ない低額です。給料カットを行っている現状では管理職へ昇任すると昇任前より減収になるケースもあり得ますが、財政状況を勘案し、慎重に検討していきます。



自民・公明クラブ
いまい たかし
今井 敬 議員

問 大災害時の危機管理と市民への情報伝達・避難指示など体制は万全か。また、自主防災組織の進行状況は。

答 地域防災計画や災害対策本部運営要領で業務分担や対応内容を定め、行動・対応しています。市民へは防災行政無線や広報車などあらゆる手段を活用して迅速かつ確実に伝達します。

また、自主防災組織は現在3地区3団体が組織され、今後の他地区の組織化にできる限り協力していきたいと考えています。

問 2020年の東京オリンピックをめざしスポーツユニフォームの育成と活動状況は。また、スポカルイン黒石の高齢者を含む利用状況は。

答 現在スポーツ振興計画の策定に取り組んでおります。策定の際には高齢者向けの体力向上プログラムなども取り入れていきたいと考えています。スポカルインの年齢別統計は取っていません。



自民・公明クラブ
おおみや まさひろ
大溝 雅昭 議員

問 20年4月から休館している市民文化会館・黒石公民館の再開は。

答 豪雪やもろもろの問題で財政調整基金も取り崩しており、財政状況が不透明で市民文化会館の再開は明言できないと言ってきました。ただ、状況が好転しているとは言えない現状です。公民館部分の再開の時期を明言することはできませんが、課題として優先順位は高いと考えています。

問 旧松の湯再生、金平成園修復工事後の将来像について。

答 この2つの観光スポットをつなぐのが中町こみせ通りであり、行政と民間が協力しながら、回遊性を待たせるための魅力向上を検討していきます。また、文化的な価値のある建築物や庭園などの資源の調査・発掘を進めていきます。

問 社会福祉関係の4つの施設が社会福祉センターとして旧農林総合研究センター等跡地に移転する。地域との連携と住民の施設等の利用は。

答 4つの施設が集約され、相乗効果もあって、それぞれ行ってきた親睦・交流の輪がさらに深まるものと期待しています。体育館など施設の住民の利用については、住民も使えるように、計画に従い整備する予定であります。



日本共産党

くどう たみ
工藤 禎子 議員

問 4月から要支援1と2を介護保険制度から外すなどの大改悪案がなされるが、介護保険と同等の支援を受けられるのか。介護保険料は、見直しでどうなるのか。

答 現行の黒石のサービス水準は落とさないという強い気持ちで第6期の計画を作りたいと考えております。できるだけ負担を少なく、納めやすい方向で考えていきたいと思っております。

問 保健協力員は任期を2年限りとし再任はしないようにすれば教育を受け、実践する人たちが増えるのでは。

答 現行ではやってくれている人を再任するのにもなかなか面倒な状況にあります。これも含めて考えていきたいと思っております。

問 イザベラ・バードの旅行記を黒石の観光資源として経済効果・地域活性化を実現することと結び付けた取り組みの考えは。明治11年当時の食生活やねぶた祭りの復元などは民俗学的な考察にもつながるのでは。

答 広域的な施策の連携をしているので、イザベラ・バードに関連した活動も、何か模索できるかも含めて検討していきたいと思っております。



自民・公明クラブ

なかた ひろふみ
中田 博文 議員

問 黒石の祭り、人形ねぶた減少の歯止め策と新規人形ねぶたに応分の助成を。

答 現状の把握と今後について、黒石青年会議所と話し合いをしたところ、減少は自然の流れでどうしようもないとの結論に達しました。各ねぶた会は、製作費の捻出に苦勞をしているということなので、アンケートを取りたいと考えています。新規人形ねぶたの助成金は、予算編成中ですので答弁は控えさせていただきます。

問 小さなまちかど博物館も含め市内のまち並みと観光スポットを多くの市民に見学をしていただき、黒石のよさの認識と、市職員には特に熟知をして観光のエキスパートになっていただきたい。

答 研修会に加え「まち歩き」の体験は有意義であることから、市の宣伝のみならず活性化に向け行動できる職員育成のため、前向きに検討します。

問 高齢者ひとり暮らし世帯への除雪サービス事業について、申し込みのあった方全員に対応できないのか。屋根雪おろしにも助成する考えはないか。

答 申し込みは92人でしたが、シルバー人材センターで人材の確保ができないので50世帯だけとしました。屋根雪おろしについては、助成の考えはありません。

黒石市議会第4回議会報告会の開催

黒石市議会では、第4回目の議会報告会を12月21日午後2時よりスポカライン黒石大会議室で行いました。

今回は9月定例会、12月定例会の説明、議会基本条例の説明と、市民からの質問という次第で進めました。

9月議会は主に24年度決算の内容の報告が中心で、決算特別委員長、副委員長より説明をしました。12月議会では議員提出議案として、「西十和田トンネルの早期建設を求める意見書の提出について」が14対1で可決、「津軽広域水道企業団との受水契約の見直しを求める意見書の提出について」は全会一致で可決したことなどを報告しました。

26年3月に制定を目指している議会基本条例

は基本条例制定委員長からこれまでの経緯、副委員長から内容の説明があり、市民から意見を求めるパブリックコメントを始めるので意見を寄せてほしいと求めました。

市民からは、「となりと雪の問題でもめている。」「学校の適正配置の進行がどうなっているか解からない。農業問題を取り上げることが少ない。」「2班に分かれてもよいので議員の意見を聞けるような場がほしい。」「黒石病院の医師の対応が不親切だ。」などの意見が寄せられました。



行政視察報告

自民・公明クラブ

村上 隆昭・北山 一衛
大溝 雅昭・大久保朝泰
黒石ナナ子・工藤 和行

視察先

大韓民国永川市(10月1日～4日)
市庁舎・市議会視察、
韓菓果実祭り開幕式、
日本企業(株)ダイセル等

【大韓民国永川市 視察目的「議会改革、韓菓果実祭り、企業誘致」について】

市議会では、議長をはじめ議員との意見交換を行い、大幅な議員定数の削減など議会改革の進展が感じられました。祭り開幕式では、韓国を代表する祭りと在って大勢の人々であふれ、祭りの進行、仕掛けなどの素晴らしさに深い感慨を持つとともに、住民参加の重要性を感じました。(株)ダイセルはエアバックの世界第2位のシェアの企業であり、施設見学、立地に至った経緯や雇用面などの意見交換を行いました。産業団地用地はすでに完売されており、航空機メーカー「ボーイング社」の誘致が決定されたことに驚かされました。

今回の研修では国際感覚に触れることができ、姉妹都市永川市の世界を視野に入れた発展を目の当たりにし、本市の発展に尽力しないといけないとの決意を新たにしました。



行政視察報告

黒石市民クラブ

佐々木 隆・山田 鉦一
後藤 秀憲・福士 幸雄
工藤 和子

視察先

北海道 富良野市
北海道 名寄市
(8月20日～23日)

【富良野市 視察目的「中心市街地活性化基本計画」について】

富良野市は通年を通しての観光客の訪れる所であるが、中心市街地には空き地が目立ち、空き地や建設未利用地の有効活用として、市中心街活性化センター「ふらっと」は地域文化の交流活動支援や周辺に立地する商業の活動支援、さらには市民の健康増進支援の場となっています。さらに、市立病院が移設したため、跡地には民間会社で複合商業施設「フラノマルシェ」を実現し市街地に元気を取り戻しつつあると感じました。



【名寄市 視察目的「薬用植物振興事業」「薬用植物の栽培の研究」について】

名寄市には、近年健康志向や高齢化に伴い漢方薬の需要が高まっていることから、高齢者農家や耕作放棄地に薬用植物「カノコソウ」栽培された実績があり、「名寄市農薬作物研究会」を立ち上げ、地元にある国の機関である(独)医薬基盤研究所薬用植物資源研究センターと協力し拡大する方向でありました。本市の耕作放棄地にも活用出来ないかと感じました。

行政視察報告

自民・公明クラブ

村上 啓二・中田 博文
工藤 俊広・今井 敬

日本共産党 (工藤 禎子)

視察先

奈良県 宇陀市
京都府 福知山市
愛知県 東海市
(2月3日～6日)

【宇陀市 ①視察目的「重要伝統的建造物群」について】

面積17ha 保存建築136件 住人800人 300世帯。保存の目的は活性化・郷土の誇り・学術的価値。

【宇陀市 ②視察目的「住宅リフォーム助成事業」について】

工事費50万円以上 助成額上限10% 10万円で地元限定の商品券。

【福知山市 視察目的「介護支援サポート制度事業」について】

高齢者2万2000人 登録者65才以上 H24年110人 1時間1ポイントで100円。交付上限年間50時間で5,000円。しかし、サポーター活動を生きがいとし50時間以上の人もおり、一番多い人は202時間、最高齢は83才の女性もいます。

【東海市 視察目的「いきいき元気推進事業」について】

健康診断のデータをシステム(職員が開発)に入力。食生活応援メニューの実践サポートまで行っている。東海市しあわせ村を拠点に健康増進の取り組みが行われており、民間の飲食店でも減塩やカロリー計算がされた健康応援メニューの提供に協力しています。



編集後記

黒石市議会の活動状況を市民に知っていただくために議会だよりを発行してから1年が経とうとしています。年4回の定例議会や視察などを掲載してきましたが、1回発行するために7回程度の編集委員会を開き、意見を重ね、よりよい編集を目指してきました。

昨年は記録的な豪雪や、台風18号の被害など農家の皆さんの落胆は大きいものでした。また、雪問題は市民生活にも多大な影響を与えました。災害に強いまちづくりは市の重要な課題になっています。議会と市民とを結ぶ情報誌として、議会活動をもっとわかりやすく伝えていきたいと思っております。まだまだ未熟ですが、これからも市民の皆さんに愛読されるような編集に努力していきます。

工藤 禎子

議会だより編集委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 大溝 雅昭 |
| 副委員長 | 佐々木 隆 |
| 委員 | 工藤 和子 |
| 委員 | 今井 敬 |
| 委員 | 黒石 ナナ子 |

お問い合わせ先

黒石市議会事務局

〒036-0396 黒石市大字市ノ町11番地1号
FAX 電話 0172-1521219
0172-15317410